

令和2年度の事業をお知らせします

【総務費】

- ・庁舎等建設事業 18億2,162万円
役場庁舎等建設工事などに係る経費
- ・地方創生事業 3,538万円
まちなか再生とまちの賑わい創出、移住・起業・空家等利活用促進などに係る経費

【民生費】

- ・障害者総合支援事業経費 2億4,755万円
障害福祉サービス利用、更生医療などの給付費に係る経費
- ・子ども・子育て支援事業 1億5,882万円
認定こども園運営の補助、子育て支援センター事業に係る経費

【衛生費】

- ・地域医療維持助成事業 1億4,000万円
住民の健康を守る地域医療維持のための津別病院への助成
- ・一般廃棄物最終処分場施設整備事業 9億6,502万円
一般廃棄物最終処分場土木施設、浸出水処理施設などの建設に係る経費

【農林業費】

- ・国営農地再編整備事業推進事業 8,275万円
国営農地再編換地業務などに係る経費
- ・町有林整備事業 5,447万円
施業計画に基づく造林・保育事業等の実施に係る経費



役場新庁舎完成イメージ



津別病院



津別高校



混乗スクールバス

【商工費】

- ・商工振興補助費等 4,552万円
起業等振興促進補助などに係る経費

【土木費】

- ・道路橋梁維持管理経費 1億2,443万円
町道等維持管理業務委託などに係る経費
- ・橋梁長寿命化修繕事業 6,973万円
橋梁長寿命化のための点検、補修工事などに係る経費

【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 4,713万円
津別高校振興対策（バス通学費、制服購入に係る補助）や公設塾運営業務に係る経費
- ・スクールバス経費 4,459万円
スクールバス運行などに係る経費

【消防費】

- ・美幌・津別広域事務組合負担金 12億6,574万円
津別消防署新庁舎建設工事などに係る経費

令和2年度 町政方針（抜粋）

3月3日から始まった定例町議会において、令和2年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介いたします（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

公約の推進

公約に掲げました項目の1つ目の「買い物環境の整備」でありますが、現在「津別町市街地総合再生基本計画」を策定中であり、開発を担う事業者を決定する過程へと進めているところであります。事業計画及び設計の段階においても、住民の声をより反映できる場の確保に努めることにより、住民が望むより良い買い物環境づくりとコミュニティ向上のための整備を進めて参ります。

2つ目の「交通の便の改善」でありませんが、これまで社会実験等を行ってきた結果を受けて、本町の地域公共交通のあるべき姿について、個別計画となる「津別町地域公共交通網形成計画」を策定いたします。

3つ目の「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」の推進につきましては、複合庁舎及び消防庁舎の建設が令和3年3月の完成に向けて着々と進行しているところであります。旧庁舎及び議事堂の解体後につきましては、買い物環境の整備とともに、図書館等の建設に向けて、多くの意見を参考にさせてい

ただき、順次、推進して参ります。

4つ目の「町民の満足度のアップ」につきましては、昨年度実施しました5回目の満足度調査におきまして良い傾向も見られましたが、問題点を分析し、すべての項目において「満足+おおむね満足」が70%となるように取組を進めて参ります。

地域振興

人づくりの推進につきましては、「人づくり・まちづくり活動支援事業」により、町民の自主的活動を支援するとともに、北海道大学公共政策大学院の学生を中心とした課外活動団体「HALCC」との連携事業を実施して、高大連携事業も含めたまちづくりの基盤となる人づくりを進めて参ります。

指定管理制度を活用している町内2か所の宿泊施設につきまして、温泉施設である「ランプの宿 森つべつ」は、宿泊者数の減少傾向は続いており、インパウンドの取り込みを図りながら、昨年開設したネイチャーセンターと連携したアクティビティの充実による魅力づくりを努めているところです。「みいとインつべつ」は、主力の合宿の

中止が心配されましたが、例年並みで推移し、営業及び一般客も順調でしたが、売り上げ単価の減少による収入減となっており、サービスの向上が求められるところと見られます。両施設とも新型ウィルスの影響も懸念される一方で、今後の効率的な運営と利用拡大を図られるよう支援を行って参ります。

観光につきましては、木材工芸館キノスの人気スポット化が図られたところですが、上里のネイチャーセンターについては、木道等の改修といった周辺整備を進め知名度の向上を行うとともに、既存のチミケツブ湖や津別峠などの自然景観を活かしたガイド事業や新たなアクティビティの充実が行われてきたところです。さらには、道の駅あいおいのクマヤキの人氣が好調なこともあり、各観光拠点と宿泊施設と連動させることが必須であるとして、観光ルートの確立を模索してきたところです。

行政改革と機構改革

令和2年度を始期とする新たな「津別町行政改革推進計画」につきましては、第6次総合計画との整合性を図り、「人口減少に適応した施策・事業の再構築と最適配分」及び「職員能力と組織力の向上」を基本指針として策定し、諮問する津別町行政改革推進委員会から答申をいただくこととしていることから、これを受けて引き続き行政改革を推進して参ります。

機構改革につきましては、平成30年度に庁内検討委員会を設置し策定した「グループ制見直し方針」に基づき、平成31年4月よりグループ制から係制に移行し、係名等を再編するとともに係長を配置したところであり、さらに方針に掲げた目標の達成に向けての検証作業を行い、町民に対するより良いサービス提供のため、組織の活性化を目指して参ります。

令和2年度予算編成

令和2年度予算は、初年度となる「津別町第6次総合計画」及び地方創生事業に関する「第2期津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、各々の前計画の流れを基本に編成したものであります。特に、第6次総合計画につきましては、これまで精力的に取り組んでいたいた策定委員会や審議会委員の皆様をはじめとする町民の多くの皆様の望む町の将来像の具現化に向けて、取り組み始めて参る所存であります。

また、これまで推進して参りました地方創生推進交付金事業が、人口減少社会に対応する確かな取組として実現してきておりますので、この官民一体となった動きをより一層推進して参る所存であります。本年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参りますことをお誓いし、令和2年度の町政方針とさせていただきます。

津別町長 佐藤多一